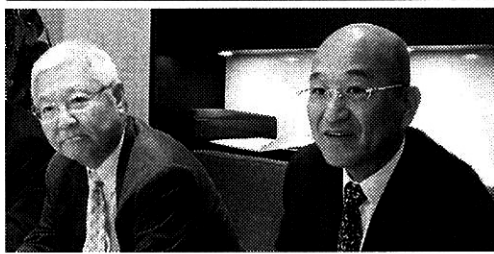


1月にも「日空連」設立

東西提携で情報交流強化



東京冷凍空調事業協同組合（沖原正宜理事長）と関西冷凍空調事業協同組合（植本茂嘉理事長）は、2009年1月1日

をめどに、日本冷凍空調事業協同組合連合会（日空連）を設立する考えだ。00年6月に東冷協組が発足、業態を拡大している

のに続き、07年2月に関西冷協組が発足、ことしに入ってから大阪府枚方市の学校空調PFIの事業会社から工事を受注するなど、活動を本格化させている。東冷協組の沖原理事長は「東西の協同組合が提携することで、共同受注や情報交換、交流を含む活動をする連合会組織にしたい。まず連合会組織をつくり、発足後、

広く全国に声をかけていくことにしたい」と話している。東冷協組はこれまで、建設業法に基づく管工事業・電気工事業許可（特定建設業）や官公需適格組合、フロン回収業者認定、工事受注環境を整備してきた。官公需物件を手掛けるまでに業態を拡大し、07年度の施工高も

43億円まで伸ばしている。また、ことしに入って、米国ASI社の「コールドフォグシステム」の日本国内総発売元となり、「コールドフォグ事業部」を設置、09年初頭から本格営業を始める準備を進めている。関西冷協組は、京都府の認可団体として発足、現在、電気設備会社1社を含む計11社が加盟している。「実際に経営に携わり、伸びようとする企業経営者が参加している」（植本理事長）。

事業会社から受注した枚方市の学校空調PFIは、富士通リースが代表を務める「枚方学校環境サービス」が落札した学習環境整備PFI事業で市内にある中学校19校、小学校45校、11幼稚園のうち、建て替える小学校1校を除く74校・園の一般教室2001室の空調設備と緑のじゅうたん・カーテンを整備する。落札金額は約51億円で、空調工事だけで20億円、緑化関連8・9億円、21年3月末までの空調維持管理費用は13億円になるという。換気機能の付いた天井吊り型の空調機で、8月までに31校の整備が完了しており、9・11月にかけて28校、09年3月

までに全工事を終える。植本理事長は、「大きな成果は3・5年先を考えていた。学校教室の空

調実績をもとに、官公庁、民間に実績を広げたい」と話している。